



## *Congenital Heart Disease*

地域連携情報誌

vol.49  
2024年7月

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます



心臓血管外科 科部長

## 日隈 智憲

平素より当院心臓血管センターの運営にご協力頂き、誠にありがとうございます。  
今回、心臓血管センターの1チームである先天性心疾患チームについて、ご紹介させていただきます。

兵庫県は1968年に県立尼崎病院、1970年に県立こども病院で、先天性心疾患の手術が可能となっており、以降この2院が、先天性心疾患治療の基幹施設となっていました。しかし、いずれの病院も兵庫県の東に位置しており、東播磨地区以西には、長く小児循環器常勤医が不在でした。2016年の当院開院時に、先天性心疾患チームが立ち上がり、小児循環器科・成人循環器内科と心臓血管外科が中心となり、新生児科、小児科などの協力を得て、開設以降年間20~30例ほどの先天性心疾患の手術を行っております。

また、当院は本邦における移行期医療の最大の問題ともいえる成人先天性心疾患(ACHD)の診療体制が開院と同時に整備されております。ACHD患者は、毎年約1万人のキャリアオーバーが発生し増え続けています。しかし、心疾患と言っても、正常心が変性によって生じる成人の心疾患に対し、小児の心疾患は、構造の異常によって生じる疾患であり、診ている対象が全く異なるため、これまでは小児科で診ていたACHD患者を循環器内科で受け入れることが困難な状態でした。当院は、開設以来、約300人のACHD患者をフォローしており、こども病院、県立尼崎医療センターなどからの移行の受け皿となっています。基本的に高校生以上は循環器内科で管理を行い、再手術、カテーテル治療の必要性などを診療科の枠を越えたチームで検討し、治療にあたります。更に、当チームには、薬剤師、心不全認定看護師、理学療法士、管理栄養士などの多職種の専門スタッフが積極的に治療に関わり、患者さんのより高いQOLを目指す治療を提供する形へと成長を続けています。

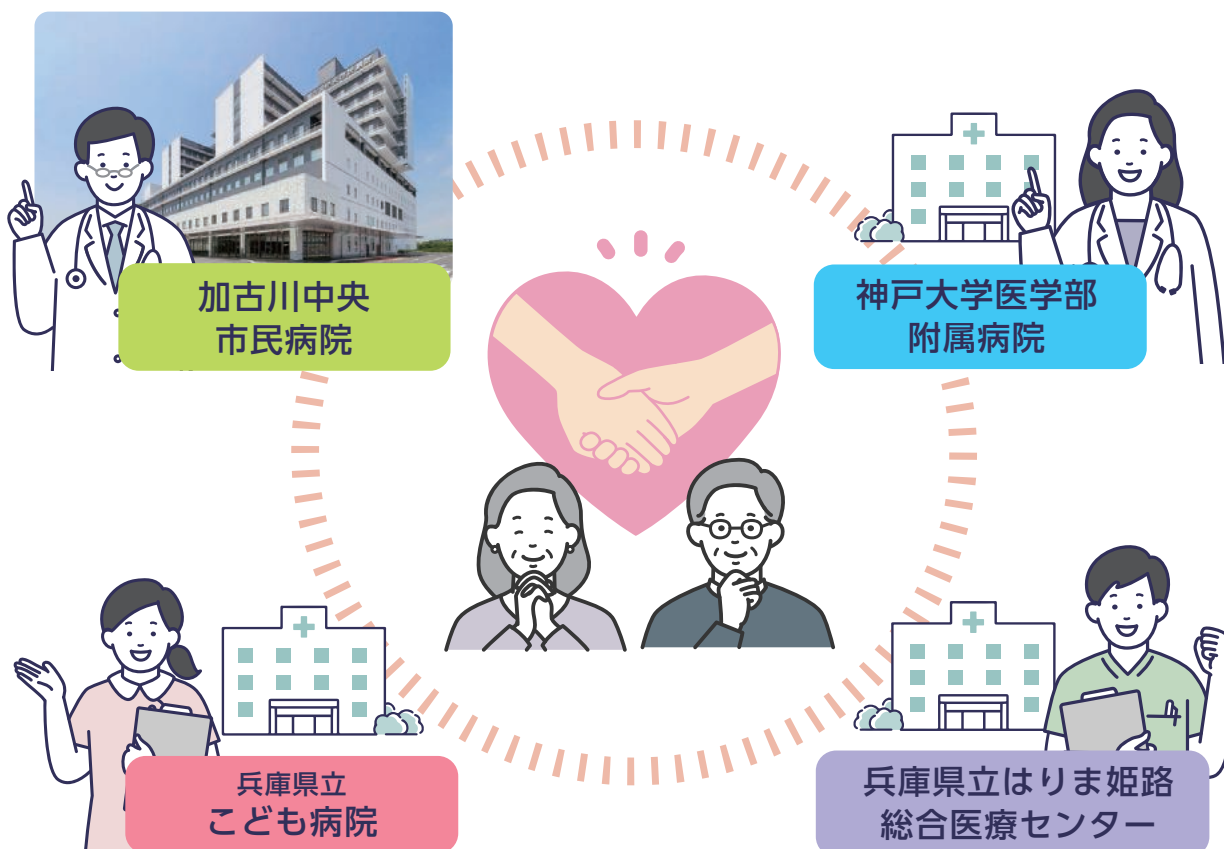
これからも、「いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続ける」という当院の理念の下、精進して行く所存です。今後とも、ご指導・ご支援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

# 先天性心疾患チームの紹介

## — 先天性心疾患チーム —



日本循環器学会の提言によると、成人先天性心疾患に対しては、単一施設で対応するのではなく、複数の医療機関のスペシャリストで構成する診療グループで対応する地域診療体制の構築・管理が重要とされています。



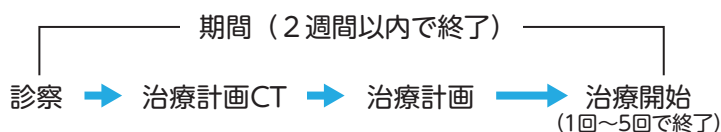
神戸大学グループでは、上記の4施設間で定期的にWebカンファレンスを行い、各症例の情報を共有・検討することで、各施設の強みを生かした、患者さんにベストの治療を提供できるよう診療体制を構築しております。

兵庫県における先天性心疾患の移行期医療は、ようやく体制の整備が整ってきました。今後も、患者さんが安心して医療を受けられるように、施設間の連携を強め、情報収集・情報共有に努めてまいります。

### 5月号に続いて、「放射線治療科」の紹介です!

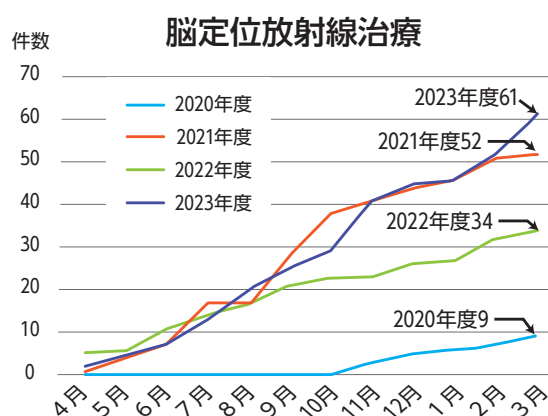
#### 頭部定位放射線治療

定位放射線治療では、腫瘍に対して様々な方向から放射線を集中させてピンポイントに照射します。そのため、腫瘍以外の正常な脳への影響が小さく、認知機能低下等の副作用が少ないことが特徴です。頭部が安易に動かないように固定することで放射線の狙いがより正確になります。当院では、固定精度を高めるため、頭部定位照射専用固定具を使用しています。治療時は寝台の回転時でもSyncTraX自動位置決め機能(SMARTALIGNER)を用いて、1mm以下の精度で正確な位置に誘導し、腫瘍のみに当てることが可能になりました。2023年度は61件の頭部定位放射線治療を行いました。

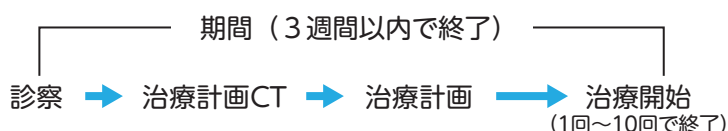
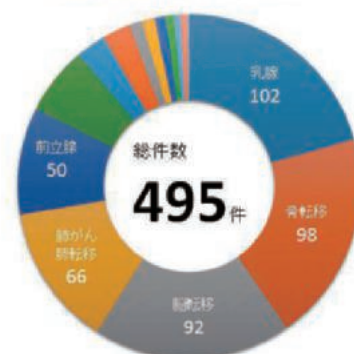


#### 緩和的放射線治療について

緩和的放射線治療（緩和照射）とは、がんに伴う様々な症状を和らげることを目的とする放射線治療です。根治が不可能な進行がんや多発転移の状態であっても、辛い症状を和らげることで、生活の質を向上させることが期待できます。最も多いのは、骨転移による疼痛緩和を目的とした照射ですが、その他にも、脳転移によるふらつき・麻痺、食道癌による食道通過障害、肺癌やリンパ節転移による血管や気道の狭窄、胃癌による出血など、がんの増大に伴う正常組織の圧迫や浸潤による様々な症状に対して、症状緩和を目的とした照射を行っています。脊椎転移による脊髄圧迫で麻痺が生じ始めているような緊急性の高い場合は、緊急照射として診察から数時間で放射線治療を開始することも可能です。照射回数は症例によって様々ですが、患者さんの状態や予後、生活環境なども考慮して、治療自体が大きな負担とならないように、それぞれの患者さんに適切な治療ができるよう心がけています。



治療部位別件数(2023年)



## TrueBeam

当院の放射線治療器 TrueBeamは2016年8月より稼働しております。

当院の放射線治療機器の特徴は以下となります。

1. 画像誘導放射線治療（IGRT:Image Gaided Radio Therapy）が可能で複雑な高精度放射線治療にも対応できる革新的な放射線治療システムです。
2. 6軸治療寝台を用いて、照射位置を理想の照射位置へ補正することで、高精度な治療を提供します。
3. 従来の機種よりも治療時間の短縮が可能となり患者さん負担の軽減につながっています。



※画像誘導放射線治療（IGRT）  
高精度放射線治療などの補助技術として行うのが画像誘導放射線治療（IGRT）です。オンボード・イメージャーで得た画像を用いて、骨照合・腫瘍位置照合（CT撮影時）を行うことで誤差が少なく安全性が高い治療を提供しています。

## SyncTraX

当院では高精度放射線治療を支援する動体追跡システム（SyncTraX FX4）を導入しています。腫瘍の近くに埋め込まれた極小マーカーをリアルタイムに追跡し、腫瘍の動きに合わせた治療を放射線治療装置『TrueBeam』と連動することで、さらなる高精度な動体追跡放射線治療が可能となりました。主に早期肺がん、肝臓がん等に用いて照射します。



### 動体追跡放射線治療とは・・・

従来の放射線治療では、呼吸性移動がある腫瘍は動きのある範囲すべてに放射線を照射していたため、正常組織にも多くの放射線が照射されていました。SyncTraXは腫瘍近傍に埋め込まれたマーカーの位置を画像上で追跡し、マーカーが所定の位置に存在する場合のみ腫瘍へ向けて放射線を照射します。よって、腫瘍により集中して照射することが可能となり、副作用のリスクを抑えることができます。

## 治療計画CT

当院では、最新の治療計画CTシーメンスヘルスケア SOMATOM go.Open Proを2024年3月に導入いたしました。放射線治療の基本となるデータを撮影するのが治療計画CTです。新規導入CTは最先端技術が導入され精度の高い再現性を生み出し、全国初のAI機能を搭載したCTです。撮影と同時に、患者さんの臓器を自動で輪郭抽出し治療計画プランの作成を支援する機能があり、患者さんの治療をより早期に始めることができます。より高精度に放射線治療をすることができます。



# 連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

## いのまた循環器・呼吸器内科

診療科：一般内科／循環器内科／呼吸器内科

当院は明姫幹線、稲屋交差点の近くにある、内科、循環器内科、呼吸器内科のクリニックです。平成5年にいのまた循環器科内科として開院し、令和6年5月に移転し医師3人体制の『いのまた循環器・呼吸器内科』としてリニューアルオープン致しました。地域の皆様のかかりつけ医として、健康診断やワクチン接種から、日々のちょっとした体調不良や糖尿病などの生活習慣病治療、心臓病や呼吸器病の初期治療から慢性期の管理まで、事務スタッフ、看護師、臨床検査技師、管理栄養士と協力し安心できる医療を提供できるよう努めていきます。発熱外来を完備し、熱のある方も持病をもつ方も安心して受診いただけます。直接医院を受診いただく他に、スマートフォンやパソコンからインターネットでのご予約をいただくことも可能ですのでご利用ください。



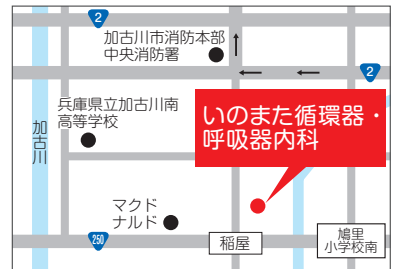
院長 猪股 工矣 先生



副院長 堂國 久美子 先生



医師 堂國 良太 先生



所在地：加古川市加古川町稲屋890-1

**TEL.079-420-0123**

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	—
午後 16:00~18:30	○	○	○	—	○	—	—

休診日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

## 登録医のご案内

当院では、地域の医療機関の皆様と共同して、より良い医療を提供していくために『登録医制度』を実施しております。現在は350名を超える地域の先生方に登録して頂いております。

医療連携をさらに充実させ、地域住民の要望に応じていきたいと考えておりますので、ご登録でない先生方におかれましては、ご検討いただけましたら幸いです。なお、当院ホームページにも登録医一覧を掲載させて頂いております。

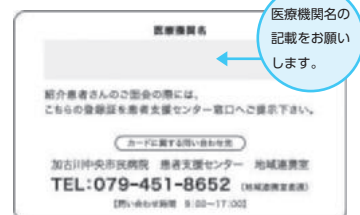
登録医の先生方には、

- ①開放病床のご利用・開放病床入院患者の手術、検査の立会・当院の診療録等医学資料の閲覧が可能となります。
- ②当院が主催する学術講演会、カンファレンスなどへ自由に参加でき、当院所有の図書の見学、複写も可能となります。
- ③インターネット予約をご利用いただけます。

## 患者面会のご案内

### 当院への来院時の流れ（ご紹介患者の面会）

- 1) 平日時間内であれば、患者支援センターにある入院支援窓口にお越しください。休日・時間外であれば、総合案内または時間外受付にお越しください。
- 2) 窓口にて上記の開放病床登録医登録証の提示をお願いします。
- 3) 病室に入られる際には、ご持参頂いた登録証を面会カードに入れていただきます。  
※スムーズにご案内するためにも事前に当院への来院が予定されている場合には、地域連携室に連絡をお願いします。患者さんへの面会は、当院の面会手順にそって対応します。ご面会できない場合もありますのでご了承をお願いします。



医療機関名の記載をお願いします。

## がん相談支援センターより ～がんサロンがOPENしました～

今年3月の新棟完成に伴い、がん相談支援センターが移転しました。

相談室だけでなく、がん患者さんやご家族が気軽に訪れて安心して話せる、またほっとくつろげる場として、がんサロン専用のスペースも設けました。

開室時間中は出入り自由で、がんの治療や療養に関する書籍やパンフレット、ウィッグの見本なども設置し、情報収集もしていただけます。

ひきつづき、月1回のがんサロン「笑てん会」の開催、がんに関する悩みや不安に関するご相談も随時行っております。ぜひ、対象の方がいらっしゃいましたらご案内ください。



がんサロン  
ホームページ



### 地図



### ご利用について

- 対象** がん患者さん、ご家族など地域住民の方、医療従事者の方(当院がかりつけでなくてもご利用いただけます)
  - 相談方法** 対面もしくは電話相談
  - 相談受付** 電話、1階患者相談窓口もしくは直接2階24番インフォメーションにお越しください。  
※予約なしでの相談も可能ですが、事前予約の方が優先になります。お電話で予約をとっていただくと確実です。  
※がんサロンの利用は開室時間中、自由にご利用いただけます。
  - 受付時間** 平日8時45分～17時00分
  - 連絡先** **079-451-8645 (直通)**
  - 相談料** 無料
- ※相談内容をご本人の了承なしに他の人に伝えることはありません。安心してご利用ください。

## 在宅医療連携研修会のお知らせ

2024年度の9月以降の研修会を次のとおり計画しています。

当院の各種専門の認定看護師が講師となり、実践の場で役立つ内容をわかりやすくご説明するようにいたします。

ご興味のある方は、ぜひお申込みください。

開催日 (予定)	テーマ	講師
9月19日	がん看護	出口 直子 がん化学療法看護認定看護師
10月17日	慢性心不全看護	小林 彩香 慢性心不全看護認定看護師
11月21日	緩和ケア	阪井 美緒 緩和ケア認定看護師
2025年 1月23日	皮膚・排泄ケア	丸山 澄美 皮膚・排泄ケア認定看護師
		橋本 円 皮膚・排泄ケア認定看護師
3月13日	摂食・嚥下障害看護	窪田 容子 摂食・嚥下障害看護認定看護師

※日程や内容、講師が急遽変更になる場合があります。

※開催の案内については、1～2ヶ月ほど前に案内させていただきます。

### お問い合わせ先

加古川中央市民病院 患者支援センター 在宅医療連携研修会

担当：森岡・庄(しょう)

TEL：079-451-8652(直通) FAX：079-451-8654(直通)

ご参考：2023年度の研修風景

